

67回生 学年祭2018

縁

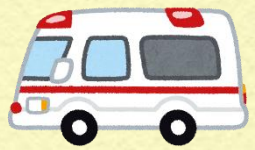
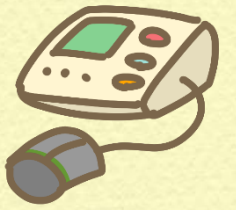
深めよう
地域との

つながり



平成30年9月22日(土)に開催いたしました学年祭には、地域の皆様をはじめとする多くの方々にご来校いただき、誠に感謝申し上げます。

ここでは、当日の学生の奮闘ぶりを紹介いたします。



学年祭は、医療高等課程1年生が地域の方々とのふれあいを
通し、看護の役割を学ぶことを目的に授業の一環として行つて
います。
学生たちは数ヶ月前から準備をはじめ、自分たちの学んだこと、
興味あること、地域の方に知ってもらいたいこと、見て喜んでも
らえるものを一生懸命考え、作りあげました。



開会式

学年祭を成功させるために

この日は、まず講堂に全員集合。ステージ上にはクラスの中心となり引っ張ってきた実行委員が整列。学年祭を無事行うための諸注意と看護学生らしく振る舞う呼びかけがありました。



実習着を着ると気が引き締まり、自分は看護者だという気持ちになります。

おもてなしの気持ち

ご来場される方は、小さいお子さんから、ご高齢の方まで幅広く、学生たちはその方に合った対応の仕方を考えなければなりません。

看護者として初めて人と接し、コミュニケーションの取り方や笑顔で接する大切さを学んでいきます。

会場準備

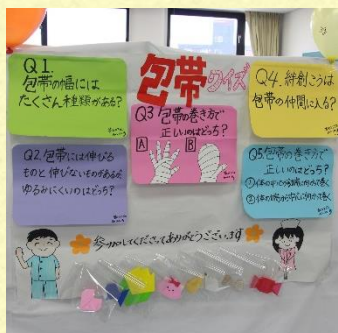


楽しんでいただくために

13時からの開場に向けて、午前中は会場準備に大忙し。教室や廊下の装飾に会場までの案内ポスターの掲示。体験ブースでは、効果や解説をカラフルな色使いで模造紙に書き、楽しみながら読んでいただけるよう、工夫を凝らしました。また、安全に体験いただくために、リハーサルもしっかりと行いました。



看護はチームで行うもの。全体の進行状況を見渡し、手が足りないところをみんなでカバー。



ブース紹介

～救急救命を学ぶ～

救急車の展示



駐車場では広島市西消防署のご協力のもと、救急車の展示を行いました。車内に入れるとあり、お子さんのみならず、大人の方にも大好評でした。また、隊員の方から直接話を聞くという貴重な体験もできました。



館内では、広島大学病院高度救命救急センターから3名の看護師さんにお越しいただき、救急蘇生とAEDについてご指導いただきました。初めてAEDを使用し、心肺蘇生を行った学生も多く、良い学びの場となりました。この場をお借りして、感謝申し上げます。



救急蘇生とAED

ブース紹介 ~看護技術でおもてなし~

看護学生ならではの

足浴、血圧測定、包帯法、ハンドマッサージなど、看護技術を体験していただくブースも多くの方でにぎわいました。

足浴、ハンドマッサージのブースでは、『受けられる方に気持ちよくなっていたきたい』という気持ちを込めて行いました。



足浴のブースには、2年生がボランティアで参加してくれました。臨地実習で実際の患者さんに接している先輩のお手本を見ながら、1年生も心を込めて足浴を実施しました。

ブース紹介 ~楽しんでもらいたい~



看護に触れていただく

学生が行う看護技術を体験していただくブースのほか、看護や健康をもっと身近に感じていただけるブースも多く設けました。

お年寄り体験やレク式体力測定、白衣体験やゲームは、お子さんに大人気でした。

また、医療高等課程同窓会『ひめゆり』も、同じ看護の道を目指す後輩のために「何かできることは？」との思いから、在校生の質問に答えるという企画で展示参加をしました。



同窓会ひめゆりの『教えて！先輩』ブース

閉会式



長い時間をかけて準備してきた学年祭も無事終了することができました。閉会式では、間もなく臨地実習に赴く後輩に向けて、ボランティアで参加してくれた2年生から励ましの言葉がありました。



ご来校いただき、
ありがとうございました。



「今日、楽しかった人」という吉本副学校長の問いにも挙手がたくさんあり、良い学びの一日となったことを実感しました。